

報道関係者各位

岡山県立岡山大安寺中等教育学校 × ノートルダム清心女子大学**DXハイスクール大学連携****中等教育4年生にデータサイエンス講座を開催！****日時：2025年2月12日（水）14:45-15:30****会場：岡山県立岡山大安寺中等教育学校（岡山市北区北長瀬本町）****<お願い>取材におこしくださる場合は、「発信元」まで事前にご連絡いただきたくよろしくお願いいたします。**

ノートルダム清心女子大学（岡山市北区 学長：津田葵）情報デザイン学部教員が高校生向けにデータサイエンス講座を開催します。県内随一の進学を誇る岡山県立岡山大安寺中等教育学校の生徒様に最先端の学びを提供いたします。ご多忙の折とは存じますが、報道機関の皆様におかれましては、ぜひともご取材いただきますようお願いいたします。

■当日の講座概要**対象者：岡山県立岡山大安寺中等教育学校4年生約100名****講師：本学情報デザイン学部准教授 前川浩基（まえがわ ひろき）****内容：Google Spreadsheet を使ってOpen Data を解析する実習**

研究内容

**■今回の取組に至ったきっかけについて**

DXハイスクール採択校と大学・高専機能強化支援事業選定大学とは、積極的な連携が求められています。情報デザイン学部が開設されたことをきっかけに、採択校の求める支援と、大学が提供できるコンテンツとがうまくマッチした結果だと思えます。

■身につけてほしい力

高校（中等教育学校）までの「勉強」と大学での「研究」の違いを体験してほしいと思っています。「勉強」では先生から教わったことを覚え、問題に正解することが重視されますが、「研究」では自分自身で疑問を見つけ、仮説を立て、それを検証するプロセスが求められます。今回の講義を通じて、生徒の皆さんには、主体的に問いを立てる力や、データを収集・分析して結論を導く力を体験してほしいと考えています。さらに、そのプロセスを通じて、物事を論理的に考える視点や、結果を批判的に評価する姿勢を身につけるきっかけとなれば嬉しいです。

■情報デザイン学科の学びがどう活かされているか

情報デザイン学科のカリキュラムは「情報系（システム系）」科目と「データ系」科目の2本柱からなっています。「データ系」科目で学ぶ内容、たとえばデータを「読み取る」「解釈する」トレーニングや、仮説・検証型のアプローチは、どのような学問分野に進むにあたって重要なスキルだと考えます。その点が、高校（中等教育学校）での「探究型学習」でも求められているのではないかと思います。

■高等学校DX加速化推進事業(DXハイスクール)とは

大学教育段階では、デジタル・理数分野への学部転換の取組が進む中、その政策効果を最大限発揮するためにも、高校段階におけるデジタル等成長分野を支える人材育成の抜本的強化が必要です。高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）では、情報、数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するとともに、ICTを活用した文理横断的な探究的な学びを強化する学校などに対して、そうした取組に必要な環境整備の経費を支援します。（文部科学省HPより一部抜粋）

■ ノートルダム清心女子大学情報デザイン学部について

2024年4月に開設。リベラル・アーツ教育を基盤に、情報学やデータサイエンスを融合したカリキュラムを組んでいます。文系理系の枠組みを超えた柔軟な視点で社会の問題をとらえる力を養い、インターネットやデータ分析を活用した多様なアプローチで課題の改善・解決にあたります。これらの学びをととして、安全で持続可能な社会の発展に貢献できる人材を育成します。

詳細はHPへ



【情報デザイン学科 最近の取組をご紹介します！】

岡山県立図書館の魅力をSNSで発信中！

情報デザイン学科の有志学生が参加して9月から開始。昨年末までに、学内で4回、学外で6回の活動を実施し、県立図書館の見学、県立図書館の職員とのディスカッション、他館（瀬戸内市民図書館）の視察、高校生・大学生を対象としたアンケートの設計・分析などの活動を行ってきました。今回は、これまでに学生が学んだ県立図書館の魅力を発信する機会として、学生が手作りで記事を作成しました。県立図書館のInstagramにて配信されています。館内各所の推しポイント、図書館の枠に留まらない有料施設、館内をじっくり歩きたくなるクイズを配信しています。ぜひご覧いただき、岡山県立図書館をもっと身近にご活用いただければと思います！1月31日には県立図書館にて、今年度の活動報告を行う報告会を実施し（写真右）、来場された図書館利用者の方から、多くのご指導、ご助言をいただきました。



県立図書館での報告会の様子

高校生「夢育」PBLフォーラム学科紹介を行いました！

12/25(水)に本学トリニティホールで実施された「高校生「夢育」PBLフォーラム」（主催:岡山県教育委員会）の会場にて、来場者の皆さんに学科の紹介を行いました。探究活動ではアンケートデータや実験データの分析で、情報デザイン学科で学ぶことができるデータサイエンスが必要となる場面が多くあります。当日は、探究活動の発表を行った高校生の皆さんや、高校の先生方、企業関係者の皆さんに、情報デザイン学科での学びや、在学生の具体的な生活、大学祭で行ったプロジェクションマッピングなどの企画や岡山県立図書館との協力活動の様子について紹介しました。また、情報デザイン学科で学べる情報系の科目に関係する端末やネットワーク機器の展示・実演、授業の様子を収録した動画の放映なども行いました。



クリスマスに実施したフォーラムはツリーがお出迎えしました

岡山大安寺中等教育学校と連携し生成AIの業務活用で教育の質向上を目指す！

DXハイスクール活動で実践的な教職員研修を実施！

情報デザイン学科と岡山大安寺中等教育学校が連携し、生成AIの業務活用を推進するための教職員研修を実施しました。この研修は、DXハイスクール活動の一環として行われ、事務作業の効率化を図り、生徒の教育により多くの時間を割くことを目的としています。

研修には、ノートルダム清心女子大学から2名の教員（吉川隆士教授、前川浩基准教授）と2名のアシスタント役の学生が赴き、岡山大安寺中等教育学校からは約50名の教職員が参加して行われました。生成AIの概念とそれに基づいた効果的な入力方法、絵やプログラムコードの作成方法などを、実際に試しながら理解を進めました。また、著作権、ハルシネーションや、生徒の利用に対する考え方についての意見交換も行われました。

これまで生成AIを利用してこなかった教職員にとっては新たな活用のきっかけとなり、既に利用していた教職員にとってもテンプレートの使い方や生成AIに向いている作業、向かない作業についての理解が深まりました。



情報デザイン学部吉川教授による研修会の様子

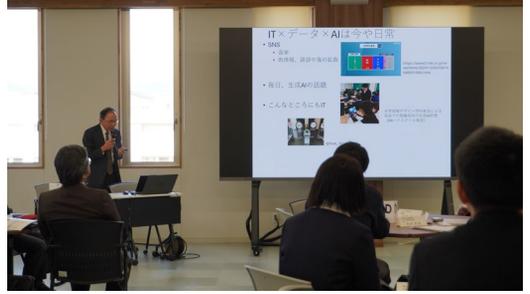
昨年12月に実施した教職員様向けの研修会です。
2月12日実施の授業は生徒様向けの講座です。

おokayamaデジタルイノベーション創出プラットフォーム(OI-Start)と 産学官連携で地域課題の解決を目指す「オープンイノベーション Match Up」を 本学にて開催しました。

おokayamaデジタルイノベーション創出プラットフォーム(OI-Start)とノートルダム清心女子大学は2025年1月24日(金)、産学官連携で地域課題の解決を目指す「オープンイノベーション Match Up」を開催しました。

本イベントでは、企業、研究者、学生、自治体が一堂に会し、共創を通じて新たな価値を創出する場を提供。基調講演には、ノートルダム清心女子大学 情報デザイン学部 学部長 中本幸一教授が登壇し、地域のデジタルトランスフォーメーション

(DX)の可能性を語りました。また、卒業生の笠岡市長 栗尾典子氏による地域課題解決をテーマにしたゲストトークも。さらに、シーズ発信やアイデアソンを通じて、岡山大学、岡山理科大学、山陽学園大学、本学の教員、大学院生、学部生等が、具体的な解決策を探るプログラムを展開しました。2024年5月に創設されたOI-Startにおいて及び今年4月に情報デザイン学部が設置されたノートルダム清心女子大学において、今回のような大規模な産学官連携イベントを開催するのは今回が初でした。



情報デザイン学部学部長中本幸一教授による基調講演の様子



アイデアソンへ指導及び助言等を行う前川准教授(中央)

※前川准教授によるパネル発表

【お問い合わせ先】

ノートルダム清心女子大学 情報デザイン学部教授 吉川隆士
〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2丁目16-9
TEL : 086-250-7165 E-mail:yoshikawa@m.ndsu.ac.jp



【発信元】

ノートルダム清心女子大学 広報室 (担当: 太田・林)
〒700-8516 岡山県岡山市北区伊福町2丁目16-9
TEL : 086-252-3107 FAX : 086-252-7035 E-mail:koho@post.ndsu.ac.jp

